



Hokkaido
Work x Vacation
北海道型ワーケーション
つながる。感じる。生まれる。

北海道型ワーケーション普及・展開事業

つながる。HUBest

人と地域がつながるベストな場所が北海道にはある



「つながる。ハーベスト」とは？

「新しい働き方」として注目されているワーケーション。その魅力のひとつでもある、人と地域とのつながりを通じて新たな活動を生み出すことができるワーク施設と、そこでの出会いを創り出すコンシェルジュをインタビュ形式で紹介します。

第五弾 利尻町

利尻町定住移住支援センターツギノバ

大久保 昌宏さん



ツギノバ

「ツギノバ」とは？

「ツギノバ」という名前には、どんな想いをこめられているのでしょうか。

ここは閉校となった旧沓形中学校を改修した施設ですが、これまでの歴史や島の成り立ちをきっちり受け継ぎ、次の未来をつくっていきましょつというこで、「ツギノバ」という名前にしました。

定住や移住の相談は、役場のようなか

しこまった場所では相談しづらいと思っ
ています。ここにはカフェラウンジもあ
り、コーヒーを飲みながら「新しい家に
移りたいんだけどどうかな？」などのよ
うに自然の流れで相談できる場になれば
いいなと考えています。

あと、島内にはカフェやWi-Fiが
整備された施設が少なく、宿を離れると
仕事をする場所も見つからないので、観
光やビジネスで来た方々にも利用してい
ただけるようワーキングスペースを設
けているほか、オンライン会議に使える
ミーティングルームや、様々な使い方が
できる多目的ルームも設けています。

——地域の方々はこの様に「ツギノ
バ」を利用されているのでしょうか。

「ワーキングスペースをつくってみ
て「こんな使い方あるんだ」と分かっ
たことですが、子供を連れて宿題をし
に来る方が結構いらつしやいますね。
また現在では、町の地域おこし協力の
任期を終えた方が塾を創業し、ここ
で教えています。塾があれば子供たち
も入りやすくなるし、親も来やすくな
ります。他にも洋服の展示・販売を
行つたり、ピアノ教室を開く方もいます。

利尻町のおススメ

——島外から来られた方に、色々と島の
おススメを聞かれることも多いかと思
いますが、大久保さんは何を勧めますか？

ワーケーション等で来られた方を我々が
ご案内する時は、「ウニ種苗センター」と
「神居海岸パーク」にセットでお連れしま
す。利尻の「つくって・守って・育てる」
漁業を体験できる場所だと思つので、必ず
見ていただいていますね。



(ツギノバ ホームページ) <https://tsuginoba.com/>

——事前にワーケーションしたいと相談
すれば、案内してもらえるのでしょ
うか？

はい！僕やスタッフが動ける範囲で
あればご案内します。

僕自身色々な地域を回りましたが、そ
の地域の人に案内してもらうことが一番
賢沢だなと思つていて、島や地域に対し
ての理解度も深まるので、これから島に
来られる方にも、是非、利尻の魅力を決
山知つてもらいたいと思います。

——最後に、これからツギノバに来られ
る方にメッセージをお願いします。

利尻島は自然も豊かで、都市部では見
られない風景が本場に沢山あります。夏
は過ごしやすいですし、仕事もとてもは
かどると思います。一方で、冬の時期も
凄く好きです。冬は地域の方がかまっ
てくれて、とても仲良くなれますし、一
度来れば、次来た時に「お帰り」と言っ
てくれる所なので、是非、一度島に来て
、仕事をしながらも楽しんでいただければ
と思います！



◆「つながる。HUBest」

富良野市内でワーケーション受入に取り組み西川さん、齋藤さんをご紹介します。

「トマール」
富良野駅からほど近い「コンシエルジュフランド」内にあるホテル「トマール」とキッチン「エベルサ」はどのような施設なのでしょう？

元々、この建物は百貨店だったのですが、閉業して空きビルとなっていたところをリノベーションし、2018年に複合施設「コンシエルジュフランド」として開業しました。

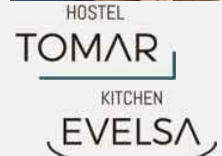
「トマール」と「エベルサ」も同年から運営していますが、コンセプトは一言で言うと「またね」です。来て終わりはなく、何回も通ってもらえるお客様を沢山つくることで、継続して運営していきたいと考えています。

「トマール」で宿泊の方も、合間に「エベルサ」で仕事されたりと、「ワーキングスペース的な使い方も出来ますね。」

第六弾 富良野市

①トマール&エベルサ

西川 斐子さん



「エベルサ」は今年レストランではなくカフェラウンジとして営業しています。電源もありWi-Fiも使えるので、ワーキングスペースとしても利用できます。

「こちらでの人の出会いから、何か新しい取組が生まれたエピソードはありますか？」

「トマール」のシェアキッチンでの出会いは、思い出せないほど沢山あります。当たり前に行く仲になります。連れ立って近場に旅行に行ったり方もいらつやいます。

あと、泊まった方がそのままうちで働くなんてことも多くて、ちょうど二週間前に旅行で初めて来て、一週間前から働き始めた方もいるんですよ。働く場所を探している方には、市内の飲食店等を紹介することもあります。

「トマール」はリーズナブルな料金で宿泊でき、共有のシェアキッチンや宿泊個室をワークルームとしても利用できます。▼



ワーク利用も可能な「エベルサ」 ▲

(トマール&エベルサ ホームページ)
<http://tom-eve.com/>



②日本ワーケーション協会公認 ワーケーションコンシエルジュ

齋藤 雄一さん



ワーケーション コンシエルジュとは？

「齋藤さんは、昨年から「ワーケーションコンシエルジュ」として活動されていますが、具体的にどのような活動を行っているのでしょうか？」

富良野にワーケーションで訪れる方に、富良野の魅力や、ワーク・体験施設等をご紹介します。ワーケーションに関する意見交換をさせていただいています。

基本的には富良野市役所に寄せられたワーケーションの要望や、市の打ち出す事業に基づいて活動しており、今年6月に全国から37名の方にお越しいただいた「富良野ワーケーションチャレンジ」では、交流会や参加者対象のオプションツアーを企画するなど、地域関係者と連携し、取組を進めています。

「これから富良野でワーケーションしようとしている人は、どこに相談すればよいのでしょうか？」

まずは、富良野市の公式サイト「ワーケーションフランド」や北海道型ワーケーションポータルサイトを通して、富良野市へご相談いただければと思います。市

と連携して、個人でのワーケーションから企業研修に至るまで、場合によっては費用が必要となることもあります。プランのコーディネートをお手伝いします。

「最後にスバリ！富良野でのワーケーションの魅力はなんですか？」

皆さんおなじみのTVドラマ「北の国から」をはじめとする文化が、富良野市の大きな魅力です。

単なるテレビのロケ地巡りではなく、自然環境や人の生き方、人の魅力を様々なプログラムを通して体感していただけたらと思います！

このインタビュー記事は、誌面の都合により抜粋版を掲載しています。

インタビュー全文については、北海道公式HPにて公開していますので、是非ご覧ください。



インタビュー全文はHPをCheck!

該当する施設を月1回程度、HPでご紹介！



「つながる。ハーベスト」対象施設

- テレワークができる施設
- 地域を知るコンシエルジュがいる施設
- 誰もが気軽に利用できる施設
- 地域住民も利用している施設

D OORS. hokkaido

北海道の扉を開こう。

「D OORS. hokkaido」は、
北海道各地域との

新たな「かかわり方」を見つけられるサイトです。

様々なかたちで地域と関わる関係人口は、
地域づくりやビジネスなど、多様な関わりを通じて地域社会に新しい風を吹き込んでいます。
本サイトで、北海道の各地域と気軽に繋がるための新しい「かかわり方」をご紹介します。

詳しくは
こちらをチェック

北海道 関係人口

<https://kankei.pref.hokkaido.lg.jp>

Twitter



Instagram



サイトに関するお問合せ先

北海道総合政策部地域創生局地域戦略課
〒060-8588札幌市中央区北3条西6丁目

☎011-204-5131



「創る」バックナンバーは、「ほっかいどう応援団会議ポータルサイト」へ

QRコード読取で
バックナンバーへ

ほっかいどう応援団会議

🔍 検索

URL : <https://hkd-ouendankaigi.jp/info/tukuru.html>